下条霞堤地区 地元説明会意見集約

会議開催日 令和6年7月29日

国：豊橋河川事務所、県：愛知県東三河建設事務所、市：豊橋市

	意見・要望・質問	回答	回答者	備考
1	小堤完成後には水がこなくなるのか、もしくは資料にある完成後の浸水範囲が示すように青い部分は水が来るから我慢しろということなのか？おそらく自分の土地がこの青い部分に含まれている。小堤完成後に最終的には水が来なくなるのかを知りたい。	小堤については、平成23年度洪水が再来しても小堤完成後に外水氾濫をしない高さで設計をしている。これより大きい昭和44年度洪水が来た場合は、小堤を乗り越えてしまう。その場合は資料で示した通り、シミュレーション上では青い範囲は浸かってしまう形になる。ただし、小堤により現況と比べ浸水範囲は大きく減ると考えています。	国	
2	内水氾濫は避けられないのであれば、排水ポンプの設置は考えないのか？	国交省に内水氾濫がどのように霞堤地区に影響するかというシミュレーションをしてもらっている。その結果を踏まえ、必要な対策を検討し、地元と議論していくことが必要と考えています。	市	
3	樋門について、本川の水位が下がらない限りは堤内地に水が溜まってしまう。樋管に排水能力などはあるのか？そのような機能があるならば、樋門から樋管に整備を見直してほしい。	現状、下条地区には2つの樋管の設置が予定されている。基本的に樋管は豊川の水が堤内地に逆流するのを防ぐ機能であるため、排水機能などは持っていない。 内水氾濫は発生してしまうと思うので、河川事務所や中部地方整備局が持っているTEC-FORCEの大型ポンプを回してもらったり、市の排水ポンプを回したり、といった対策が必要と考えています。	市	
4	これまで排水ポンプが出動したことは無かったと思うが、それはなぜか？	現状堤防がない状態なので、排水してもまた水が溜まってくるという状況になると思われる。ただ、排水ポンプで強制的に排水できれば、現状よりは浸水の深さだったり範囲っていうのは減少する可能性が非常に高いと市として考えています。	市	
5	大雨が予想されている場合、あらかじめ排水ポンプの出動を準備してもらうことは可能なのか？	状況に応じた判断が必要と考えている。国で言うと、愛知県内に限らず、中部地方一体を所管しているため、管内の状況を見ながら判断が必要である。そのため、市から要請したとしても希望が通らない可能性もある。 そのため、下条地区の地形データや市が管理している水路の現況データを国に提供し、国の方で内水氾濫がどのように発生し、どのように排水されていくのか、というシミュレーションをやっている。それを踏まえた上で、対策を検討していく必要があります。	市	
6	センサの設置について、下条地区ではどのような状況か？	ワンコインセンサはまだ水位計がついてない所を重点的に対策して設置している。下条地区には水位計があるので、ワンコインセンサ・浸水センサ自体は付けていません。	市	
7	4つの霞堤で小堤を作り順番に蓋がされていくとして、順番が最後になった地区にそれまで分散していた水が全部一か所に回ってくるとイメージすると、とんでもない被害になることが想定される。各地区で進めるに当たり、順番の決め方やリスクについてはどのように考えているのか。一番最後の地区には補償などを考えているのか。	詳細の検討はまだ出来ていないが、そうならないように、できるだけ4地区同時に完成を目指している。資料に示すシミュレーション結果も、そのような想定の内算出した浸水範囲等です。	国	
8	各地区の中で、下条地区がなぜ最後なのか？去年の出水で下条地区では人も亡くなっている。交通量もあるし、立ち往生した車や避難した人も大勢いる。最後に閉じるのは別の地区（牛川とか）でもいいのではないか。	小堤の整備順序はこれから検討していく。ただ、小堤よりもまずは樋管を先行して各地区で施工する予定である。4箇所同時に締め切るという考えは変わっていません。	国	

下条霞堤地区 地元説明会意見集約

会議開催日 令和6年7月29日

国：豊橋河川事務所、県：愛知県東三河建設事務所、市：豊橋市

	意見・要望・質問	回答	回答者	備考
9	賀茂の樋管工事はほぼ完成していくと思うが、下条地区の工事のスケジュールについて詳しく教えてほしい。樋管は2か所になると思うが、その工事の過程、いつ着手していつ頃始まるかの作業工程をしっかりと教えてほしい。	下条地区の施工ステップとして、大まかに以下を予定している。※今後変更の可能性有 <ul style="list-style-type: none"> ・①神田川下流の河道整備と築堤を行う ・②大江川樋管を施工 ・③中央排水樋管を施工 ・④本川側の完成堤施工（神田川合流点～大江川樋管付近） ・⑤神田川の切り替え、本川合流部の河道整備 ・⑥神田川上流の築堤 ・⑦本川側の小堤・HWL堤整備 施工スケジュールの詳細は決まっていないが、令和14年度までの7～8年の間で上記ステップを進めていくことを予定しています。	国	
10	そもそもなぜ小堤なのか？小堤でなく大きな堤防で防ぐのはダメなのか？なぜ霞堤の機能を残さなければならなかったのか。	河川整備計画で、4霞の内、1つが築堤で他3箇所が小堤を整備する計画となっている。全てを完成堤にしてしまうと、他地区で水位が上昇し、危険な箇所が増えてしまう。	国	
11	過去、他にもあった複数の霞堤は完全に閉められている。牛川地区のみ完成堤で他3地区が小堤なら、牛川で流れるはずだった水を他地区に押し付けていることになる。 去年の洪水でも甚大な被害を受けた。市からの支援は数パーセントのみであり、生活が懸かっている。	現在の河川整備計画は令和16年度までの計画であるため、次期整備計画の見直しなどを今後検討していく予定である。 豊川水系河川整備基本方針では全て締め切るような計画であるが、まずは整備計画で定められている平成23年洪水を防ぐための小堤・築堤整備を進めていきます。	国	
12	浸水被害があった場合でも行政からの補償は数万円と噂で聞いた。農家の作物、家屋、車の被害など生活していけなくなるのは大変なので、完成までの間に何かあった場合などの補償を考えてもらいたい。	補償・支援の話は他の地区からも意見をいただいているので、関係機関とどういう補償や支援ができるのか今後話し合っていきたい。	国	
13	職場が新城のため、昨年の洪水の際、資料にあるライブカメラで水位を見つつなんとか間に合っ 自宅に帰ることが出来た。このような情報を公開しているのはとても有難い。 県道・市道等の通行止めのリアルタイム状況もウェブで見られると助かるが、対応可能なのか？	日本道路交通情報センター（JARTIC）であれば、国道や県道の情報が公開されると思うが、市道までの情報は出ていない。 ただ、県道が通行止めになると市道も通行止めになると理解していただきたいと思います。	市	
14	資料にあるポータルサイトに、県道や市道の通行止め情報などもまとめて載せることは難しいということか？	ポータルサイトにおいて中部地方整備局、道路情報センターの通行止め情報を表示しているサイトへのリンクを追加します。	国	
15	今回初めてこの説明会に参加させてもらった。もう10回目の開催ということだが、今まで全く知らなかった。どのようにアナウンスされているのかを知りたい。また、今後もこのような地元説明会に参加して進捗状況や対策を知ること自分達の不安感が少しでも軽減できればと思う。	今回案内文を国が作成し、市の方で自治会の組回覧で回覧してもらった。 今後については、今日の意見も参考にしつつ、組回覧がいいのか、もう少し早めに全戸配布をした方がいいのか、自治会を通じた配布がいいのかなどを国とも議論します。	市	
16	県道69号豊橋乗本線の路肩に「この先冠水注意」という看板が最近立っていた。資料にもあったが、いつ頃・誰が立てられたのか？	6月21日に県が仮設置した。今後は仮設置ではなく、冠水注意喚起の案内看板の設置を検討します。	県	
17	小堤完成後、防ぎきれないような大きな洪水があった場合、小堤から越流する水は流速が早く急な流れで押し寄せると危惧している（津波のように）。小堤施工箇所の周辺には住居もあるので、住んでいる方になるべく影響がでないように対策してほしい。また別の機会で構わないので、その辺りについてご説明をしていただければと思う。	小堤は越流水で崩れないように被覆したり、流速を減じるような構造を検討していく。 構造については詳細な設計をおこなった後に作業部会等で説明していきます。	国	
18	旧堤の撤去とあるが、どのような形になるのか？小堤は旧堤とは別に新規で整備するのか？	まだ検討段階だが、旧堤はそのまま活用する霞堤地区もあれば、撤去する霞堤地区もある。 下条については、現時点では既存の旧堤を活用した形で小堤構造を検討したいと考えています。	国	